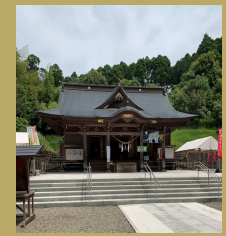


都農町フィールドマップ



【藤見公園】

この公園は約20年前に作られた公園であり、地元の方から見ても整備されていてきれいだと言われている。確かに遊具や芝の整備が整っていた。また、藤見公園の付近は散歩やサイクリングの道として多くの方が利用している。地元の方の話によると、この公園から景色を見る際に少し寂しいため、花を植えてくれるとより散歩が楽しくなるそうだ。この付近にはたくさんの種類のスポーツを楽しむ施設があるため幅広い方から愛されている。



【都農神社】

およそ1200年の歴史を持つ、日向国一之宮に位置付けた由緒正しい神社であり、県内外問わず、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人が縁結びなどの御利益を求めて参詣していた。本殿までの道は灯籠が左右に並んでいるほか、取水舎には龍の竹細工と水辺には色鮮やかな紫陽花が浮かんでおり、本殿は荘厳な雰囲気で行んでいた。周辺地域も含め神社には観光客によるごみのポイ捨てもなく、清掃も行われていたことから、由緒ある神社として大切に守っていこうとする地元の人々の姿勢を感じることが出来た。車いすで参詣している方もいたが、神社前の横断歩道は一部損傷して段差ができていたため、少し危険に感じた。



【シーメイト】

ユニークな店主が経営する海洋生物専売店「シーメイト」。主に都農町や日向市で取れた海水魚やサンゴなどのソフトコーラルを主として販売している。店主は独学で飼育法を学び、多くの海洋生物の飼育に成功した。元々は山口県にお住まいだったため、違う地域からの視点を含め、たくさんのお話を聞かせていただいた。



【道の駅「つ」】

産館「門前市場」では、トマトやワインなど、都農町の特産品や地元産品を活かした加工品・工芸品などが販売されていた。道の駅内には、食事スペースに加えて、情報休憩コーナーや防災トイレ、土砂災害警戒地区を明示した表示板があり、情報や防災機能を集積した中心市街地活性化の拠点としても機能していた。また、国道沿いに位置し、バスも運行されていたことから、利便性の高さが見て取れた。話を伺うと、地元の方は都農町や地元産の特産品を誇りに思っている人が多く、地元愛が強い印象を受けた。

今回初めて都農町を探索したが、様々な発見があった。長所としては防災意識が高く、災害に向けた取り組みが為されている。また地域の人々のニーズに合ったまちづくりが行われているため、町民の地元愛が強く生活に満足している様子だった。一方で空き家が多いことや道路舗装が一部破損している点があった。このことからニーズに沿って、空き家の活用や交通整備、地元の情報発信が地域の更なる発展に繋がると感じた。